



# 瑞雲

昭島市立瑞雲中学校

校長 山下 久也

令和6年 4月 10日

## 新たなスタートにあたって

校長 山下 久也

154名の新入生を迎え、令和6年度が始まりました。在校生もそれぞれ進級し、新しい学級の仲間や担任と出会いました。気持ちも新たに皆で協力して、楽しく学べる学校を作っていきたいと思います。

年度当初にあたり、学校経営の基本方針についてお知らせいたします。

### ◎目指す学校

- 真面目に努力する生徒が生き生きと活躍できる学校
- 自主・自律の精神を培うことのできる学校
- 生徒・保護者・地域・教職員が誇りをもてる学校

### ◎目指す生徒像＝教育目標

- ・すすんで学習に励む生徒 …学力向上
- ・たくましい体力を身につけた生徒 …体力向上
- ・規律と礼儀を重んじる生徒 …道徳心・人権意識
- ・すすんで働き、協力しあう生徒 …社会性・地域貢献

### ◎最重点目標…自己有用感の育成

本年度も引き続き、最重点目標は「自己有用感の育成」です。似たような言葉に、「自己肯定感」や「自尊感情」がありますが、本校では「肯定感＝自信・自尊心」ではなく、「有用感＝役に立つ」という言葉を用いています。

人の役に立った、感謝された、認められた、という意識が「自己有用感」です。自分と他者との関係の中で、自他ともに価値を認められることで生まれる自信であり、その重要性を私たち教師が意識して教育を行うためのキーワードが「自己有用感」なのです。

具体的には、授業や学校行事など様々な教育活動において、仲間に認められる体験を意図的・計画的に設定しています。例えば体育大会、合唱コンクールでは、生徒が計画や運営に主体的に関われるようにします。生徒会や委員会活動では、学校生活における身近な課題について協力して解決させます。部活動では、チームや仲間と共に努力する中で、自分なりの目標を達成する経験をさせます。このような取り組み通じて、子供たちが他者から認められる経験を積み重ねることが、自分や人間関係に自信をもち、未来に向かってたくましく生きる生徒の育成につながると考えています。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。